

## 令和元年度水資源功績者表彰受彰者と功績概要

## [個人]・・・3名

受彰者	功績概要
<small>あんざい たもつ</small> 安齋 保 (北海道)	下川町長として、サンルダム建設事業を推進し、水資源の開発に貢献された。また、ダムの周辺整備計画を策定し、ダム活用について具体化するとともに、流域住民が参加する植樹を主催するなど、地域の活性化と水源林の整備に尽力された。
<small>せき かずのり</small> 関 和典 (青森県)	西目屋村長として、津軽ダム建設事業を推進し、水資源の開発に貢献された。また、ダム完成後は水陸両用バスを導入したダムツーリズムを強力に推進するなど、地域振興に尽力されている。
<small>ひらやす まさもり</small> 平安 正盛 (鹿児島県)	知名町長として、沖永良部農業水利事業を推進し、地下ダムによる水資源の開発に貢献された。また、知名町地下水保全条例を制定し、沖永良部島において最も重要な水資源である地下水の保全に尽力された。

## [団体]・・・4名

受彰者	功績概要
浦和レッドダイヤモンズ株式会社 (埼玉県)	埼玉県が実施する上下流交流事業「水源わくわくセミナー」に参画し、上下流域における住民の相互理解の醸成や八ッ場ダムに係る普及啓発に大きく貢献している。
安曇野市 (長野県)	地下水や水循環など水資源に関する調査研究を行い、地域住民、事業者と協働して水資源の保全に係る活動を長年にわたり実施している。
岐阜県立恵那農業高等学校 (岐阜県)	阿木川ダムのダム湖の水質浄化を目的とした空芯菜の水耕栽培を実施している。収穫した空芯菜は、地域住民による販売のほか、イベント等のPRに活用されており、地域の水質保全意識の向上を図るとともに、水源地域の活性化に寄与している。
佐賀東部土地改良区 (佐賀県)	広範囲にわたるクリーク（農業用排水路）の維持管理を通じて、水資源の有効利用に貢献している。また、土地改良区がクリークの多面的機能維持のための協定を締結した自治会の代表と水源地視察研修を実施するなど、地域と一体となって水資源の保全、有効利用を推進している。